

業界初のオリジナル車検システム「マッハ車検」FC

注目のマッハ車検が全国展開を本格化

北九州市に本部を構える関マッハFCは、アニメーション製作会社で有名なタツノコプロダクションが創立40周年記念プロジェクトの基幹事業として立ち上げた。同社は、一九六〇年代にスーパーカーブームの火付け役ともなった代表的なアニメ「マッハGOGO」をメインキャラクターにしたり、まったく新しいタイプの車検フランチャイズチェーンだ。



人気アニメだった「マッハGOGO」をイメージキャラクターにした「マッハ車検」FC。

同社本部が直営する「マッハステーション小倉東インター店」は



「マッハタッチ」システムは、お客様とのコミュニケーションツール

このマッハタッチシステムの特

二〇〇三年十二月のオープンと同時に約三カ月で月間車検受付台数四〇〇台を記録。併設するセルフのガソリンスタンドの売上も伸びている。

同社の注目すべき点は大きくふたつ。前述した有名アニメキャラクターによる店頭看板などのCI効果を活かした集客力ともう一つは、実業界初となる立会・対話・納得型の四十五分車検システム「マッハタッチ」を採用、顧客満足、信頼度を上げること、リピート率を向上させている点だ。



カメラ、インカムを付けたメカニックからフロントのお客様に車両情報を伝達。

徴は、入庫した車両に対して法定五十六項目点検に独自の点検項目四十四点をプラスした一〇〇項目点検をわずか十五分で実施。点検、検査も標準化して整備価格を明確にメニュー化してお客様に提案。その際に画像式タッチパネルのこのシステムを使用することで、点検整備の説明、追加整備の案内、見積り作成とスムーズにわかりやすくサービス内容の提案が行える。また、立会い車検とはいえ、実作業はハンディカメラで撮影されたフロント・シフトルーム内に設置されたパソコン画面に映し出され、メカニックとお客様が直接スピーカーで会話しながら、作業を

進めるので、お客様との信頼関係の構築でき、車検時の成約とならなかった後日整備も後でフォローできるシステムになっている。

導入工場スタイル・規模にも考慮したFCシステム

この様に今までの立会い車検から一歩踏み込んだ、新しいスタイルの車検FCを目指す同社。

今後のFC展開としてカーアフターマーケットなどのチャネルからでも参入しやすい様に様々なカテゴリータイプを用意している。

例えば、小倉東インター店と同様にSS併設型の「マッハステーション」タイプや指定工場併設型のマッハタイプなど規模別でも参入しやすいシステムを構築し、それに合わせた加盟料、ロイヤリティを設定している。整備工場は身の丈にあったスタイルを選択できる。

マッハFCでは、今後、本格的な全国展開を図るとともに保険販売、カー用品販売、中古車販売などのカーアフターマーケット商品の充実化を図り、ブランドイメージの向上とユーザー認知度アップを目指している。